児童に見られるつまずき

　小数の除法の意味を式や図を用いて説明することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　既習事項に帰着させながら、ことばの式や数直線図を用いて立式し、説明する活動を通して、小数でわることの意味について理解を深めさせる

指導事例集ｐ．４３

１　学年・単元名　　第５学年　　小数÷小数（数と計算領域）

２　単元目標

・小数の仕組みや計算のきまりを用いて、小数の除法の計算の仕方を考えようとする。

（関心・意欲・態度）

・小数の除法の意味やその仕方について、既習の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりなどをもとに考えたりすることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　（数学的な考え方）

・小数の除法の計算ができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（技能）

・小数の除法の意味やその仕方を理解する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（知識・理解）

３　単元の内容

・小数でわる意味と立式

・**整数÷小数の計算の仕方**

・小数÷小数の計算の仕方

・小数でわる計算の筆算

ワークシート２使用

・被序数、除数、商、余りの関係と余りの小数点の位置

４　本時の学習目標

　　（整数）÷（小数）の計算の仕方がわかり、その計算ができる。

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学　習　活　動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| つかむ | １　問題を把握する。  課題　整数÷小数の計算のしかたを考えよう  ２．４ｍのねだんが９６円のひもがあります。このひも１ｍのねだんを求める式をかきましょう。  課題　整数÷小数の計算のしかたを考えよう | ・これまでの学習と比較させ、整数を小数で割る場面であることを確認する。  ワークシート１使用  参考：記入済みワークシート１、ノート１ |
| 考える | ２　自力解決で９６÷２.４の計算の仕方を考える。  ・０.１ｍ分の値段を求めてから、１ｍ分の値段を考える。  　９６÷２４＝４  　４×１０＝４０　　４０円  ・２４ｍ分の値段を求めてから、１ｍ分の値段を考える。  　９６×１０＝９６０  　２.４×１０＝２４  　９６０÷２４＝４０　　４０円 | **・なぜ計算ができないのかを話し合い、わる数を整数にして計算することによって、これまでの既習事項に帰着させて考えればよいことに気付かせる。**  **・問題解決の手がかりとなる既習事項（「0.1のまとまり」「わり算の性質」）について話し合い、自分がどの既習事項を用いるのかを考えさせるようにする。**  ・式だけでなく、図や言葉の式を用いて表すように伝える。  参考：ノート２ |
| 話し合う | ３　全体で話し合う | **・**関係図やテープ図が、式とどのように関係しているのかを話し合うことで、答えを求めるまでの考え方についても考えるようにする。  **・自力解決で解けなかった児童には、関係図やテープ図を指さしながら、友達の発表を繰り返させることで、考え方を身に付けさせる。** |
| 確かめる | ４　適用問題をする。  ・わる数が純小数になる問題の立式と計算の仕方を考える。  0.8ｍで９６円のリボン１ｍのねだんは何円ですか。  ５　学習の振り返りをする。 | ・わる数が純小数であっても、わる数を整数にして計算する考え方が適用できるかを話し合わせる。  **・わり算をしているのに値段が大きくなることことに違和感を感じる児童には、図を用いて数量の関係を視覚的に確認できるようにする。**  ・本時の感想をまとめさせる。 |